

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	人類史Ⅱ (3M)
科目基礎情報					
科目番号	0049	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教科 (人文科学系)	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 『高等学校日本史B改訂版』伊藤純郎他著 清水書院、『新詳世界史B』帝国書院 (いずれも令和4年度2年次に使用したもの)、補助教科書: 『最新日本史図表』第一学習社、『グローバルワイド最新世界史図表』第一学習社 (いずれも令和4年度2年次に使用したもの)				
担当教員	米澤 晋彦,長井 栄二,荒川 肇				
到達目標					
1. 近世以降の日本の内政と外交及び織豊政権・幕藩体制のあゆみがわかる。 2. 開国から明治時代の日本の内政と外交及び明治維新・立憲体制の確立とあゆみがわかる。 3. 大正時代からワシントン体制下の日本の内政と外交及び政党政治のあゆみがわかる。 4. 軍部の台頭と政党政治の崩壊、第二次世界大戦に至るまでの日本の内政と外交及び終戦までのあゆみがわかる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	近世以降の日本の内政と外交及び織豊政権・幕藩体制のあゆみを世界史と対比させて説明できる。	近世以降の日本の内政と外交及び織豊政権・幕藩体制のあゆみを説明できる。	近世以降の日本の内政と外交及び織豊政権・幕藩体制のあゆみを説明できない。		
評価項目2	開国から明治時代の日本の内政と外交及び明治維新・立憲体制の確立とあゆみを世界史と対比させて説明できる。	開国から明治時代の日本の内政と外交及び明治維新・立憲体制の確立とあゆみを説明できる。	開国から明治時代の日本の内政と外交及び明治維新・立憲体制の確立とあゆみを説明できない。		
評価項目3	大正時代からワシントン体制下の日本の内政と外交及び政党政治のあゆみを世界史と対比させて説明できる。	大正時代からワシントン体制下の日本の内政と外交及び政党政治のあゆみを説明できる。	大正時代からワシントン体制下の日本の内政と外交及び政党政治のあゆみを説明できない。		
評価項目4	軍部の台頭と政党政治の崩壊、第二次世界大戦に至るまでの日本の内政と外交及び終戦までのあゆみを世界史と対比させて説明できる。	軍部の台頭と政党政治の崩壊、第二次世界大戦に至るまでの日本の内政と外交及び終戦までのあゆみを説明できる。	軍部の台頭と政党政治の崩壊、第二次世界大戦に至るまでの日本の内政と外交及び終戦までのあゆみを説明できない。		
学科の到達目標項目との関係					
(A)人類の幸福 A-1					
教育方法等					
概要	日本近世・近代の歴史を、世界の多様な地域の歴史、世界史の一環として理解するための基礎知識を修得する。				
授業の進め方・方法	講義形式で行う。必要に応じて適宜レポートや小テストを課す。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。				
注意点	〔評価方法〕 合格点は50点である。前期・後期の成績は、それぞれの中間・期末の試験結果を70%、その他(レポートや小テスト等)を20%、授業態度を10%で評価する。学年総合成績 = (前期成績+後期成績) / 2。 〔学習上の注意〕 授業中、各自で説明のメモを取ることが必要である。わからない語句や漢字がある場合は自分で辞書を引き、わからない地名が出てきたときは自分で地図を参照する習慣を身につけることがポイントである。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス 1 近世 (1) 中世から近世社会へ	授業の進め方と評価の仕方について理解する。近世初頭の外交と織豊政権について理解する。	
		2週	(1) 中世から近世社会へ	近世初頭の外交と織豊政権について理解する。	
		3週	(2) 幕藩体制の成立と国際関係①	幕藩体制の成立と国際関係について理解する。	
		4週	幕藩体制の成立と国際関係②	幕藩体制の成立と国際関係について理解する。	
		5週	(3) 幕藩体制の展開と元禄文化①	幕藩体制の展開と元禄文化について理解する。	
		6週	幕藩体制の展開と元禄文化②	幕藩体制の展開と元禄文化について理解する。	
		7週	到達度試験 (前期中間)	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。	
		8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答を受け、自分の課題を見いだす。	
	2ndQ	9週	(4) 幕藩体制の動揺と化政文化①	幕藩体制の動揺と化政文化について理解する。	
		10週	幕藩体制の動揺と化政文化②	幕藩体制の動揺と化政文化について理解する。	
		11週	近代1 明治期 (1) 近世から近代社会へ①	幕末期から明治維新に至るまでの過程について理解する。	
		12週	近世から近代社会へ②	幕末期から明治維新に至るまでの過程について理解する。	
		13週	(2) 明治維新と立憲国家の成立①	明治維新から立憲国家が成立するまでの過程について理解する。	
		14週	明治維新と立憲国家の成立②	明治維新から立憲国家が成立するまでの過程について理解する。	
		15週	到達度試験 (前期末)	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。	

		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答を受け、自分の課題を見いだす。
後期	3rdQ	1週	(3) 日清・日露戦争と東アジア①	日清・日露戦争と東アジア情勢について理解する。
		2週	日清・日露戦争と東アジア②	日清・日露戦争と東アジア情勢について理解する。
		3週	(4) 近代産業の発展と国民生活①	近代産業の発展と国民生活について理解する。
		4週	近代産業の発展と国民生活②	近代産業の発展と国民生活について理解する。
		5週	近代2 大戦期 (1) 第一次世界大戦と日本の社会①	第一次世界大戦と日本の社会について理解する。
		6週	第一次世界大戦と日本の社会②	第一次世界大戦と日本の社会について理解する。
		7週	到達度試験（後期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。
		8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答を受け、自分の課題を見いだす。
	4thQ	9週	(2) 政党政治の発展と大衆社会①	政党政治の展開と大衆社会について理解する。
		10週	政党政治の発展と大衆社会②	政党政治の展開と大衆社会について理解する。
		11週	(3) 第二次世界大戦への道①	第二次世界大戦に至るまでの過程について理解する。
		12週	第二次世界大戦への道②	第二次世界大戦に至るまでの過程について理解する。
		13週	(4) 第二次世界大戦と日本の社会①	軍部の台頭から終戦に至るまでの過程と日本の社会について理解する。
		14週	第二次世界大戦と日本の社会②	軍部の台頭から終戦に至るまでの過程と日本の社会について理解する。
		15週	到達度試験（後期末）	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答を受け、自分の課題を見いだす。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

			法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合						
	試験	態度	その他			合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	100
基礎的能力	70	0	10	0	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	10	10	0	0	20